

2017/12/15

神代植物公園

植物多様性センターの「初冬の風景」

12月も半ば、昨年は11月に初雪が降り驚かされましたが、今年も雪こそ降りませんが冷え込む日々が多いです。冬に向かい動物も植物もまるで気配を消したかのようですが、よく見てみるとあちらこちらに密やかな息づかいを感じることができます。園内を色々と探してみ、寒さを楽しんでみませんか。晩秋から初冬へ進んでいく寒さと、それを自然の中で適応しながら春を待つ姿。冬芽などこの季節ならではの掘り出し物もたくさん。陽だまりでじっくりと観察もできます。



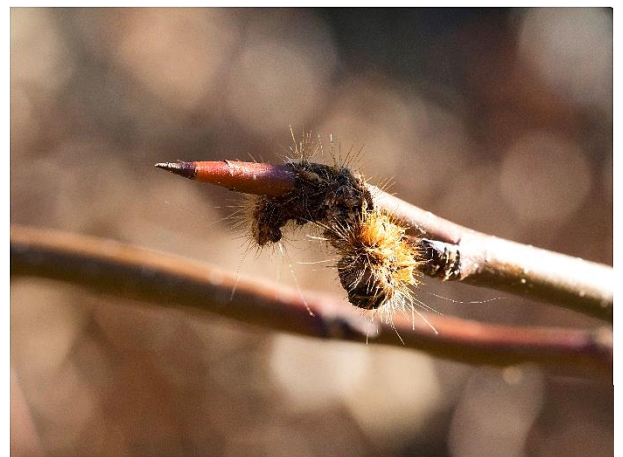
シモバシラの氷柱
今冬初めて本格的にできた
12月13日早朝に撮影



花芽の様に見えるイラガの繭
終齢幼虫はこの中で越冬



枯葉の衣を纏うミノムシ
雌は自分が作った蓑から
生涯外に出ることがない



モズの仲間が晩秋から
盛んに作る「はやにえ」
毛虫をナシの枝に突き刺す